

フェノロジーカレンダー

指宿 自然と暮らしの 恵みこよみ



環境省
Ministry of the Environment



指宿エリアへのアクセス

●指宿・佐多岬へのアクセス

- 1 鹿児島空港
- 2 鹿児島中央駅
- 3 指宿駅
- 4 指宿港

高速バス(約40分)
JR(約56分)
タクシー(約10分)

●車による指宿駅からの所要時間

指宿温泉	約6分
池田湖	約25分
西大山駅	約16分
知林ヶ島	約15分
開聞岳	約20分

霧島錦江湾国立公園 概要

日本最初の国立公園のひとつ。霧島山塊、桜島火山、錦江湾など、巨大カルデラ群が生み出す多様な火山景観と海域景観が特徴。また、そこに育まれた豊かな文化や温泉・食などの恵み、壮大な歴史と神話を楽しむことができる公園です。

- 面積：陸域36,624ha ●指定：1934年3月
- 関係市町村(2県、8市3町)
宮崎県：都城市、小林市、えびの市、高原町
鹿児島県：鹿児島市、垂水市、霧島市、始良市、湧水町、指宿市、南大隅町

日本各地からのアクセス



指宿の恵みと暮らしとの関わり

指宿地域は、鹿児島湾口に面する独自の地形と火山地域ならではの気候を活用した様々な特産品があります。



最高級「本枯本節」指宿鯉節

鹿児島県は全国シェアの7割を占める鯉節生産量があり、中でも山川地域は全国シェアの3割を占めています。古来は琉球との貿易港として、近代は遠洋漁業の基地として栄えた山川地域。明治40年代から鯉節船が集まるようになり土佐や伊予、長崎から移り住んで来た鯉節業者が製造を始めました。鹿児島県で全国シェアの8割を占める最高級品「本枯本節」は、カビ付けと天日干しを繰り返して鯉の水分を飛ばしたもので、半年以上の月日といくつもの工程を経て、熟練の技で上質な香りとうまみを引き出しています。

幻の徳光スイカ

江戸時代、すでに山川のスイカは美味いと評判だったとの記事が「三国名勝図会」(江戸時代後期に薩摩藩が編纂した、藩内の名所・風景などを記載した文書)に記されています。現在でも「徳光スイカ」のブランドで人気のその秘密は開聞岳にあります。開聞岳の周辺にはスコリアや火山礫などの火山噴出物が厚く堆積し、これらの土壌は通気性、透水性に優れ、施肥量のコントロールが比較的容易で、また保温効果が大いという特性があります。これがスイカの生育に適しています。糖度が高く、シャキシャキとした食感で、流通量が少ないことから「幻のスイカ」とも言われています。

自然・スポット



開聞岳
別名「薩摩富士」とも呼ばれる開聞岳は、なだらかな稜線と美しい円錐型が、富士山に似ています。924mの山頂からは、周囲の山や湖、海、島などを一望できます。

池田湖
池田湖は九州最大のカルデラ湖であり、周囲15km、深さ233mです。カヤックツアーやウェイクボード、ウェイクサーフィンなどのマリンスポーツが体験できます。



指宿砂むし温泉
砂むし会館「砂楽」と砂むし温泉「砂湯里」では、浴衣に着替えて約50~55℃の砂を掛けられます。個人差はありますが約10分で汗が出てくるので、砂から出た後はシャワーで砂を落としてから、温泉でリラックスしてください。

鰻池と鰻温泉
鰻池はオオウナギが獲れたことから名付けられた火山湖で、鰻温泉は鰻池の湖畔にたたずむ、江戸時代から続く西郷隆盛も滞在した湯治場として知られる歴史ある温泉です。



長崎鼻
薩摩半島の最南端に突き出た岬。西方には弓なりの砂浜が続き、その端に開聞岳がそびえ立っています。天気の良い日は、南の洋上に屋久島・竹島・硫黄島を望むことができます。

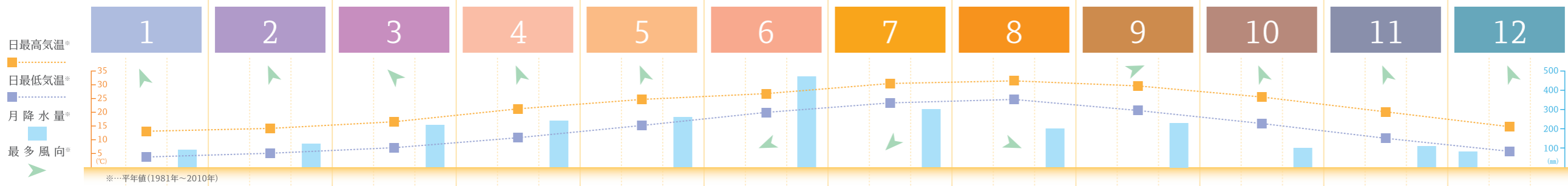
川尻海岸とオリビン
オリビンは宝石名でペリドットと呼ばれ、大きいものであれば2mmを超える物が採取できます。開聞岳の噴出物に含まれており、この周囲、特に川尻海岸で見ることができます。



山川製塩工場跡
昭和18年頃から約20年間、伏目海岸一帯の温泉熱を利用した製塩事業が行われていました。眼下に広がる伏目海岸の砂浜には高温の噴気があり、湯煙が上がっています。

山川湾
火山噴火でできた天然良港で、戦国時代からすでに国際貿易港として賑わいました。西洋で初めて紹介された日本の姿『日本報告』にも描かれている歴史ある港湾です。

指宿エリアは、複数の火山噴火によって形成された独特の地形と気候から得られる様々な恵みを活用した個性あふれる文化を育んできました。フェノロジーカレンダー（生活季節暦）とは、1年を通じた地域の自然と人の営みを綴った「地域の旬」を伝えるカレンダーです。「指宿 自然と暮らしの恵みこよみ」では、指宿の四季折々の自然と恵み、それにまつわる地域の人々の生活を紹介します。



知林ヶ島



砂の架け橋 知林ヶ島とちりりんロード(干潮時)

東シナ海から鹿児島湾に入ってくる温暖な黒潮の流れと鹿児島湾内から東シナ海に向かうやや冷たい流れの境目に浮かぶ知林ヶ島は、海流がぶつかり合うことで境目に砂が積もり海底に「道」ができます。これが大潮や中潮の干潮時に姿を現し、約800mの砂の架け橋となります。砂州の出現時間は最大4時間ほどで、統計では1時間以上出現する日は年間約190日、2時間以上出現する日は約86日ほどになります。波が荒い冬場は砂が流されて砂州ができにくいので、3月～10月が渡れる季節になります。

砂の道 ちりりんロード(3月～10月)

大地の恵み



実えんどう

かごしまブランドに指定されており、中でも地元高校生が名付けた「まめこそう」という品種は、子供でも食べられる甘さ。

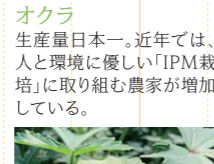


スナップエンドウ

生産量日本一で、鹿児島ブランド指定されている。鮮度が命なので、早めに食べるのがベスト。

そらまめ

生産量日本一で、鹿児島ブランド指定されている。鮮度が命なので、早めに食べるのがベスト。



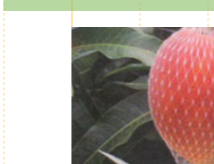
徳光スイカ

水はけの良いれき質土壌で育つ、この地域でしかできない甘さが特徴。流通量が少ない幻のスイカ。



マンゴー

かごしまブランドに指定。近年では、ふるさと納税での人気も高い。



サツマイモ

指宿市は、サツマイモ伝来の地。気候や土壌に恵まれ糖度が出やすい特徴がある。



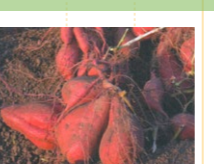
山川漬

「唐漬」とも呼ばれ、国際貿易港だった時代の山川港の歴史が感じられる。



スナップエンドウ

生産量日本一。シャキシャキとした食感と甘味が特徴。



オクラ

生産量日本一。近年では、ふるさと納税での人気も高い。



マンゴー

かごしまブランドに指定。近年では、ふるさと納税での人気も高い。



サツマイモ

指宿市は、サツマイモ伝来の地。気候や土壌に恵まれ糖度が出やすい特徴がある。

海の恵み



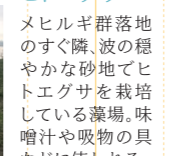
イセエビ

長寿の象徴として広く親しまれ、めでたい席に登場する逸品。刺身、焼きエビ、みそ汁など、様々な料理でおいしく食べられる。



ヒトエグサの収穫

メヒルギ群落地のすぐ隣、波の穏やかな砂地でヒトエグサを栽培している農場。味噌汁や吸物の具などに使われる。



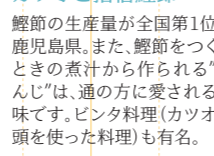
カツオ

鹿児島県は、カツオの産地。また、鰹節をつくる際の煮汁から作られる「せんじ」は、通の方に愛される珍味です。ピンク料理(カツオの頭を使った料理)も有名。



いぶすき菜の花カンパチ

鹿児島県は、いぶすき菜の花カンパチの生産量が日本一。指宿の養殖カンパチは「いぶすき菜の花カンパチ」というブランド名で流通している。



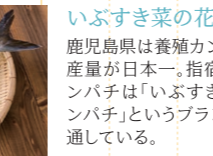
イセエビ

長寿の象徴として広く親しまれ、めでたい席に登場する逸品。刺身、焼きエビ、みそ汁など、様々な料理でおいしく食べられる。



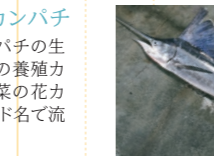
バショウカジキ

「秋太郎」の名で鹿児島県民に親しまれている。秋の風物詩。毎年バショウカジキ水揚げのニュースが報じられると、県民は秋の訪れを実感する。



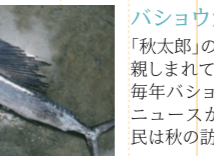
メヒルギ群落北限地(喜入・指宿)

メヒルギはマングローブ林をつくる常緑樹で、喜入町が北限地。



ノハラクサフジ

竹山付近では、北方系のノハラクサフジと亜熱帯のソテツが同時に見られる。



菜の花

12月下旬から2月上旬まで開花。

地域の動植物



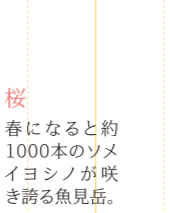
菜の花

12月下旬から2月上旬まで開花。



桜

春になると約1000本のソメイヨシノが咲き誇る魚見岳。



ソテツ(開花)

竹山や長崎鼻は、ソテツ自生地の北限。



ウミガメ(産卵)

知林ヶ島や長崎鼻の浜辺が産卵場。6～7月にかけて上陸・産卵。



ノハラクサフジ

竹山付近では、北方系のノハラクサフジと亜熱帯のソテツが同時に見られる。



菜の花

12月下旬から2月上旬まで開花。

年中行事

1 いぶすき菜の花マラソン(1月上旬)

山川利永地区の伝統行事。仮面が見物人を追い回し、煤がつけられている大根で顔を真っ黒に塗る。

2 メンドン(1月中旬)

3 いぶすき菜の花マーチ(1月下旬)

黄色い絨毯のように広がる菜の花の中、初春の息吹を感じながら歩くイベント。



日本が一番早い市民マラソンとして、毎年1月の第2日曜日に開催。

4 九州オールドカーフェスタin指宿かいもん(4月下旬)

「トキの餅吊り」。村境に綱を張り、無病息災を祈願する伝統行事。現在は鰹地区のみ。



5 トップノモツイ(5月中旬)

アロハのまち「指宿」に一足早い夏の訪れを告げる、ハワイアンモードたっぷりのイベント。

6 揖宿神社浜下り(5月下旬)

1545年から続く伝統行事。行列をなして浜まで練り歩き、海岸で砂を持ち帰り、神社に供える。

7 山川みなと祭り(6月上旬)

天然の良港「山川港」で、航海の安全と大漁を祈願するため開催されるお祭り。

8 いぶすきフラフェスティバル(6月上旬)

開聞岳をバックに約3000発の花火が打ち上げられる夏祭り。

9 かいもん夏祭り(8月中旬)

戦後もなく始まった歴史ある祭。温泉の恵みに感謝し、水源が枯渇しないように祈願する。

10 指宿温泉祭(9月下旬)

特産品や花卉類、農林水産物の試食・展示即売会が行われるイベント。

11 枚間神社神舞(10月14日/例大祭15・16日)

代々伝えられてきた枚間神社の神舞は、現在は青年団が受け継ぎ10月14日の例大祭の前夜祭で舞われる。

12 いぶすき産業まつり(12月上旬)

山川港の2会場で開催される歳市の。

13 山川ふるさと歳の市(12月下旬)

鰻集落のスメ料理

鰻池周辺の集落では、「スメ」と呼ばれる鰻温泉から噴出する蒸気を利用する天然の「かまど」が家庭にあり、日常的に使われています。

複数の火山噴火が造った地形



九州最大のカルデラ湖である池田湖から南東へほぼ直線的に並ぶ松ヶ窪、池底、鰻池、成川、山川港は、約5700年前に起こった大噴火により陥没が発生し形成されたと考えられる火口群です。池田湖の南南西には、縄文時代の後期に活動を開始した開聞岳があります。開聞岳と池田湖の間にも、鏡池、水無池、大底月、小底月などの火口が点在します。指宿市域の大半が阿多カルデラの中に含まれ、まさに火山の博物館です。

指宿名物

指宿では池田湖畔の回転式そうめん流し、温泉卵を多様な食材と合わせた温たまらん丼、生産量日本一を誇るオクラやそら豆の料理などが名物です。



唐船峡のそうめん流し

独特な回転式そうめん流し発祥の地。平成の名水百選に認定された京田湧水を利用したそうめんが味わえます。



鰻集落のスメ料理

鰻池周辺の集落では、「スメ」と呼ばれる鰻温泉から噴出する蒸気を利用する天然の「かまど」が家庭にあり、日常的に使われています。